

西尾市地域公共交通計画の事業進捗について

事業①-1 タクシーサービスの利便性向上・活性化

- ドアツードアの特性を生かし、高齢者、障害者、妊婦等のタクシー利用支援事業を実施
- 常滑市、半田市、碧南市と連携したタクシーツアーの実施
- ユニバーサルデザインタクシーの導入を補助(1台 10 万円。令和3年度実績:4台)
- タクシーの日(8月5日)イベントとしてユニバーサルデザインタクシー試乗会を実施
- コロナ対策として「タクシー事業者運行維持緊急補助金」を創設(1台 10 万円)

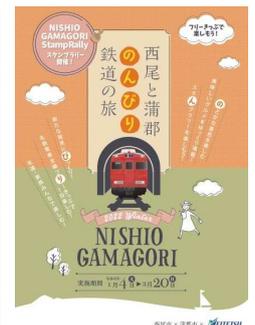


事業①-2 いこまいかのサービス設定等の見直し

- 吉良地区において、地区公共交通協議会との協働により目的地拡大を実施
- 75 歳以上の免許証自主返納者を対象に運賃の 100 円割引を実施
- バス交通の再編にあわせて、西尾地区、一色地区では地区内の拠点施設へ目的地を集約。幡豆地区では、先行している吉良地区をモデルに、地区内の商業施設や医療機関へ目的地を拡大
- 乗合方式からタクシー補助方式に転換し、予約利便性の向上や運行事業者の拡大を実現
- 令和3年 10 月、吉良地区および幡豆地区で目的地を追加

事業②-1 鉄道の維持・活性化

- 駅を発着点とし沿線を巡るウォーキングや利用促進大会の開催、啓発グッズの作成を定期実施
- 10 人以上の団体や小学生以下の親子を対象とした運賃補助制度により、にしがま線の利用機会を創出
- 駅周辺での駐車場整備補助制度を新設し、パークアンドライドを促進
- 夏休み期間を利用し、小学生を対象に「にしがま線を描く会」を開催
- 「にしがま線げんき戦略」を策定し、これまでの「利用促進」+地域外からの「誘客推進」の取組を実施
- 名古屋周辺の大学生による沿線観光資源の掘り起こしや、女性誌・情報誌への沿線 PR 記事掲載
- Instagram や Facebook、YouTube を活用した沿線の魅力発信
- 「海と山と赤い電車 西尾ぐるっとロゲイニング！」の開催に協力
- 沿線散策マップ・沿線店舗用応援のぼり等の作成
- 西幡豆駅、東幡豆駅、西浦駅、形原駅に二次交通としてレンタサイクルを整備
- 名古屋鉄道との協議により、西尾市、蒲郡市が負担金を支払うことで令和7年度までの運行継続を合意
- 愛知大学地域貢献事業「REGO(レゴ)」との協働による「御駅印」の制作・配布
- 西尾市・蒲郡市・名古屋鉄道の三者が連携し、にしがま線の魅力向上と収支改善を目的とした連携合意書を締結。蒲郡線で白帯ラッピング車両が運行
- 西幡豆・東幡豆駅の駅舎取り壊しの際、「駅舎ありがとイベント」を開催。鉄道愛好家等の誘客及び利用機会を創出
- にしがま線フォトコンテストを開催。入賞作品を掲載したポストカードブックを制作し、沿線の魅力を発信
- 名古屋鉄道が販売するフリーきっぷに来訪特典を付与することにより、にしがま線への送客を促す企画を名古屋鉄道と協働で実施



事業②-2 バスセンターの整備

○一色地区にていっちゃんバスの運行開始に伴い、市の再配置事業により公共施設を集約した一色町公民館に名鉄東部交通バス一色線、ふれんどバスの停留所を集約し、乗継拠点とした。

事業②-3 バス交通の再編、事業②-4 新たな運賃体系の実施

○令和2年4月にバス交通再編を実施。六万石くるりんバスを3路線から8路線に拡大し、これまでバスが運行されていなかった地域や名鉄東部交通バスが廃止になった地域をカバー
 ○市内を運行しているバス路線の運賃をすべて1乗車200円に統一したほか、名鉄東部交通バスからコミバスへの乗継割引や共通一日券、通学定期の共通利用等、分かりやすく使いやすい運賃体系とした。

- PayPayおよびLINE Payに対応
- 令和3年10月に本格運行を開始。再編後の意見等を踏まえ、ダイヤ改正及び停留所移設を行うとともに、3か月定期券を新設
- 障害者手帳アプリ「ミライロID」に対応



事業③-1 西尾市地域公共交通活性化協議会による事業管理とPDCAの実施

○毎年度計画記載事業の進捗管理及び目標達成状況の検証を実施
 ○地区協議会が主体となって運行を開始したいっちゃんバスでは、地域自ら目標値設定や利用促進策、自己評価を行い、令和2年4月にはアンケート結果をもとにした見直しを実施
 ●次期地域公共交通計画の策定のための市民アンケート・利用者アンケートを実施

事業③-2 地区公共交通協議会の設立、運営

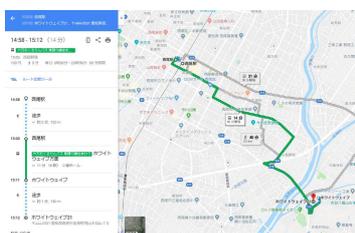
○住民主体で地域内交通改善を進める地区公共交通協議会が4地区で設立され、地域と行政の協働による公共交通の見直しを実施
 ○一色地区では「いっちゃんバス」の運行を開始し、吉良地区、幡豆地区では「いこまいかー」の目的地を地域内の医療機関、商業施設、公共施設等へ拡大



事業③-3 情報提供(公共交通マップ、乗継情報等)

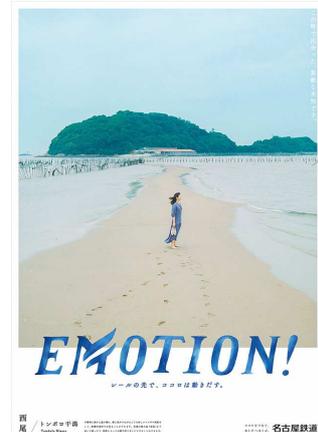
○経路検索事業者(NAVITIME、ジョルダン、駅すぱあと)と連携し、路線情報の見える化を実施
 ○民間路線も含めた市内全バス路線のGTFSデータを事務局で作成し、グーグルマップに掲載
 ○市内公共交通を網羅した総合時刻表の作成
 ○西尾警察署や民生委員等との連携により、高齢者を対象としたバスの乗り方教室を実施
 ○外国人向け情報冊子や市役所ロビーに設置の多言語情報モニターでバスの乗り方案内を掲載
 ○個人のおでかけにあわせたマイ時刻表作成サービスの開始
 ○バスロケーションシステム、リアルタイム混雑情報提供システムの導入

- 高齢者単独世帯などを訪問する民生委員を対象に、公共交通の利用講座を開催
- ダイヤ改正情報などを多言語化し、SNSで情報発信
- 六万石くるりんバス(ポンチョ)車内にモニターを設置し、運賃案内・運休情報・市政情報等を配信



事業③-4 地域のまちづくりや観光振興と一体となった施策の実施

- 各種団体との協働により、鉄道沿線ウォーキング等のイベントを多数開催
- 公共交通を活用した観光キャンペーンの実施
- 愛知こどもの国での大規模イベント開催時に、鉄道での来場者に対しグッズ等を配布
- 観光との連携として、市民ボランティアガイドによる六万石くるりんバス車内での観光案内を実施
- 六万石くるりんバス車内モニターおよび車両側面に、地元企業等の広告を掲載
- 名鉄グループ、市、観光協会が連携し、観光活性化プロジェクトを実施。
名鉄シリーズ広告「EMOTION！」西尾篇の展開、観光資源の磨き上げを通じた観光庁の実証事業の実施など



事業③-5 エコ通勤・通学の取組の実施

- 市が残額を負担することで名鉄東部交通バス通学定期の個人負担を月 3,000 円に抑える「スクールパス」制度を実施
- ふれんどバスにおいて、沿線高校の入学式等の場で定期券の出張販売を実施
- 沿線中学校へ公共交通を利用した高校への通学案内チラシの配布
- 愛知県と連携し、ショッピングセンターでの啓発活動や、市内企業を訪問し鉄道を利用したエコ通勤への協力依頼を実施